

キャラクター名
 珈島 唯一郎 (かしま ゆいいちろう)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	喫茶店店長
	パロール					
オプション			年齢	46	性別	男
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %	
出自	待ち望まれた子	経験	平凡への憧れ	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	9
精神	3	0	2			5	戦闘移動	14
社会	2	1	0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉	2	
回避			知覚	1		意志	1		調達	2	
運転:			芸術 (200%増強)	2		知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
球原 環 (はいばら たまき)	P 庇護	N 悔悟		
新堂 あさぎ	P 遺志	N 不安		
獅子灘 歩了	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(下限値7)								
プラズマカノン	3	4	Xジャー	視界	単体	RC	100	
効果: 攻撃力: +[Lv×5]の射撃攻撃								
氷の加護	3	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: サラマンダーの攻撃の攻撃力+[Lv×2]								
焦熱の弾丸	1	1	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果: 攻撃力: +[Lv+2]の射撃攻撃								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	-	100	
効果: 時間を止め相手の判定を失敗にできる								
氷盾	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果: ガードを行う際にガード値を+[Lv×5]する								
温度調節	★	-	Xジャー	至近	自身	-	-	
効果: 絶妙な温度管理ができる								
凍結保存	★	-	Xジャー	至近	単体	-	-	
効果: 人体を凍結させ老化や腐敗、病傷の進行を防ぐ								
熱感知知覚	★	-	Xジャー	至近	自身	-	-	
効果: 熱でもものを見ることが可能。人の感情や体調の変化も察知できる								
デイクソゾングート	★	3	Xジャー	-	※	-	-	
効果: どこでもドア								
ポケットデイクソゾン	★	-	Xジャー	-	※	-	-	
効果: 空間を捻じ曲げてありえない空間を作る								
効果:								
効果:								
効果:								

【思想】
 彼は生まれた時からオーヴァードだった。
 UGNに所属していた両親は彼の誕生を喜んだが、知らずもそこで彼の運命は決まったようなものだった。
 敵と戦うために生きる日々。やり甲斐も生き甲斐も感じていたが、疑問を抱くこともあった。
 自分は普通の人間として、平凡に生きることができなのだろうか？
 望まぬ運命を背負うオーヴァードたちや、これから生まれてくるオーヴァードの子供たちは、
 "普通の幸せ"というものを求めてもよいのではないだろうか。
 自身、UGNの思想も信念も理解しているが、子供たちを過酷な運命に導くこともまた事実だ。

ならば、自分は彼らの選択を決して咎めることはせず、自由に生きることを支援しよう。
 彼らが"普通の幸せ"を過ごせるような、そんな世の中を僕が作ろう。

=====

【過去】
 朱玉揺らす熱誠 または 朱玉の珈島
 (しゅぎよくゆらすねっせい)
 彼の作るプラズマ球が赤く発光することから名づけられた。
 "サーマルブリーズ"は熱によって発生した簞を揺らす風をモチーフに。または珈島の熱誠による熱い風。

彼はかつて相棒となるエージェントがいたが、ジャームとの戦闘において負傷。
 死が目前となったその時、彼の体を抱えていた珈島はその身体を凍結させた。
 回復の見込みはなくジャーム化も懸念されたがそれでもと頑なだった彼に押し入れ、霧谷は球原の身体の保管を了承した。